

(ひと月の活動の振り返り)

①飛鳥観光協会での業務

先月に引き続き、新型コロナウイルスの影響から来訪者は激減しました。先月の18日より閉館、5月19日より再開しましたが、店頭への観光客は引き続いて減ったままです。歴史的な出来事とはいえ、やれること対処すべきことはしっかりとてあとは、積極的な受け身の対応しかありません。もしもの時にしっかりと備えつつも、モチベーション・意識を出来るだけ高いレベルで維持することにスタッフの方をはじめ、みんなで努めました。それでも、直接来館される方は少ないにしても、村内を自動車でご家族・小単位にてお越しになられる方は散見されました。

②地域との関わりの活動プラスα

※明日香村猟友会での活動～有害鳥獣駆除～

『村猟友会の活動（毎週水・土曜日に定期活動）』
 コロナ禍とは無関係にこちらの活動は続きます。（野生動物にコロナは関係ございませんので…）先月に引き続き、今月の活動も水曜日のみの参加となります。
 メンバーは3名が車両2台に分乗して村内の各大字を廻り設置した檻、罠の確認・メンテナンスを行います。

傾向として、雨の日の翌日以降が良く掛かります。やはり、雨でニオイ（人間や金属等）が流されて、警戒心を和らげるのかもしれませんが、また、同じ個所にもよく出没しています。野生動物はそれぞれの習性やテリトリーをもって行動していることを実感します。



(細川谷～上より)



(夕焼け～細川)

③交流人口活性化（村外交流のきっかけ作り）

自己研鑽と地域活性化

新型コロナウイルスの影響により、今月の引き続き中止となりました。入学した京都大学観光MBAも世の大学とご多分に漏れず、通学はせずに授業はオンラインで100%対応しています。メリットはオンタイム後に撮影した動画にて何度も復習出来ることや通学の負担軽減があります。デメリットは心象的ではありますが、やはりリアルに勝るものはないということです。

追記、運動不足の解消に多武峰に13回自転車で登る

来月のクイズ 村内の信号機は幾つでしょうか？
 （解答 15カ所でした）

今月のクイズ 道の駅飛鳥 飛鳥総合案内所
 飛鳥びとの館の入り口左上
 先月あげましたツバメのヒナは
 何羽でしょうか？



(カモ～駅前の高取川)